

ページ 2

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2012年12月18日～2013年12月

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

52名

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

宮内庁、東宮職、JETRO、各種 NPO 団体等、経済産業省、JICA、各国大使館、領事館、大阪市

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

56,747 \$

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

無

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

DEVELOP A GLOBAL PARTNERSHIP FOR DEVELOPMENT

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

大阪市民 267 万人

Objective 目的

説明：(例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

【主目的】

○企業に対して、自社の収益だけでなく社会に貢献する事業の必要性を知ってもらうこと

○一般市民に対して、社会の為に事業を実施している企業を知ってもらい、応援しようという意識を芽生えさせること

以上を通じて、「フェアトレード」の考え方を大阪市に定着させる。

「フェアトレード」の定着によって、貧富の拡大を防止する。

フェアトレードを意識的に推進することは、発展途上国において、奴隷的労働や強制労働、児童労働を防止につながり、国連グローバルコンパクトの原則 4、及び原則 5 を推進することになる。自由主義経済 (FREE ENTERPRISE) を構築し、正しい経済の発展を実現させる。

【副次的な目的】

・ J C I 大阪の事業に世界で活躍する青年経済人に参加してもらうことで、J C I 大阪が YOUNG ACTIVE CITIZEN の GLOBAL NETWORK になる。

・世界に存在する問題に対して、大阪市民に目を向けてもらうことで、SOVEREIGNTY OF NATIONS を TRANSCEND した BROTHERHOOD について、POSITIVE CHANGE する機会を提供する。

・海外から招聘する YOUNG PEOPLE に対して、日本の伝統や価値観に触れてもらい、彼ら自身が異なる価値観を理解した上で行動するという POSITIVE CHANGE する機会を提供する。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

【事業に協力する TOYP メンバーの選定】

TOYP (THE OUTSTANDING YOUNG PERSON) は、国家や地域を越えた課題に対して、経済活動を通じた社会開発運動を行っている方々を指す。

私たちが定めた今年の主たる事業目的は、フェアトレードの推進である。

そこで、私たちは、たとえば、その目的に合致した 5 人の青年経済人を選定した。

【TOYP メンバーの日本への招聘】

私たちは、選定したメンバーに私たちの事業の趣旨を伝え、大阪市にきてもらい、彼

ら自身の活動内容を、JCIメンバーや一般市民に発表してもらうことを依頼し、承諾を得た。

【フォーラムの準備と開催】

私たちは、招聘したTOYPメンバーが発表するフォーラムを開催することにした。

私たちはフォーラムを開催する日時と場所を設定した。

私たちは、JCIメンバーや、一般市民に対して、フォーラムの告知と、参集を呼びかける広報活動をした。

私たちは、招聘するTOYPメンバーとの間で、フォーラムで発表する内容に関する意見交換をした。

なお、より大きな効果を生み出すため、エシカルに関する専門家の講演もセットした。

【TOYPメンバーに対する機会提供】

海外から来た若くてアクティブな市民であるTOYPメンバーに対して、異なる価値観や日本の現状に触れて学んでもらい、POSITIVE CHANGEする機会を提供するために、次の事業を実施した。

1) 日本文化に触れてもらう。

2) エシカルファッションの服飾販売企業を訪問した。

エシカルファッションとは、以下の条件を備えているファッションを指す。

I 素材の選定（オーガニックコットン、リサイクルコットン）

II 素材の購入（発展途上国からの買い付け）

III 商品の製造（化学染料を使用せず、天然染料を使用して繊維を染色する等）

IV 商品の流通（フェアトレード）

【行政との連携】

フェアトレードの理解が未だすすんでいない中で、特定の企業のみが突出してフェアトレードを推進しても短期的には、経済的な利潤が乏しい。つまり、続かない。そこで、全社会的にフェアトレードを広く推進するために、行政との連携が必要である。私たちは、事業の構築の時点から、大阪市や経済産業省、JETROとの連携を行ってきた

【皇室との謁見】

皇室は、世界最古の王朝であり、国民に敬愛されている。

JCI大阪のTOYP事業は、過去32年間、継続して皇室との謁見の機会があった事業である。

今年のTOYP事業も、これまでと引き続き皇室に関わりのある事業であるとなれば、本年の事業テーマである「フェアトレード」の趣旨も、より真剣に一般の方に受け入

れられる素地となる。

また、外国から来たTOYPメンバーも、自らが推進する事業が、日本国の皇族にも理解を得ているとなれば、より積極的な活動に POSITIVE CHANGE するきっかけともなる。

そこで、過去 32 年と引き続き、今回も、事業の趣旨をお伝えした上で、皇族との謁見機会を設ける。

【レポートの編集とその配布による広報活動】

TOYPメンバーのフォーラムなど、TOYPメンバーの活動や発信した内容、体験した事実（皇族との謁見含む）を一過性のものではなく、永続的な運動を発展させるためのツールとして、私たちはレポートを編集した。

フェアトレードの推進する為に必要なのは、地道な啓蒙活動だからである。

私たちは、レポートを協力いただいた諸団体（大阪市・JETRO含む）に配布し、今年の事業のエッセンスが、市民に身近で、永続的に伝わる体制を構築することにした。

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

【フォーラムへの参加者】

我々の広報活動により、フォーラム開催に252名が参加した。結果、252名にTOYPメンバーの生の声を届けることができた。

【アンケート結果】

フォーラムに参加した参加者の94.7%が、「TOYPメンバーによるプレゼンテーションを聞いて、彼らが実践している経済活動に参加・協力しよう」と感じる結果となった。フェアトレードの趣旨が、伝達できた。

また、実際にJCメンバーの中から、自らの事業を通して社会開発運動を行う人が出てきた。

【皇室との関係継続】

今回の事業趣旨も、例年と同様、皇室の理解の得られる内容であり、謁見を実現できた。また、次回に皇室とJCI大阪の関係をつなげることができた。

フェアトレードの重要性について、皇室とJCI大阪との間に積み重ねていた歴史

に、1頁付け加えることができた。

【メディアに掲載】

JCI大阪は、フォーラムや皇室との関係等に興味を持ったメディアから取材を受けた。

単に会場内の人間だけでなく、幅広くフェアトレードの意義を伝えることができた

【特徴】

フェアトレードは、短期的な利潤確保という命題とは、相反している。したがって、なかなか理解を得られにくいし、理解が得られなければ、企業として社会的意義は理解しつつも、参加しづらい側面がある。そして、大人数の理解を得ることは直ちに難しく、地道に理解を浸透させる必要がある。本事業では、未だ、その端緒であって、未だ目に見える形での成果は見えにくい。

人々の意識という目に見えない心に種を植え、今後時間を掛けてフェアトレードを拓ける下地を構築する作業を行ったのである。

Actions Taken 行動

説明：

【エシカルについての研究】

実際にエシカルをテーマに活動、研究している企業や団体を訪問

12月18日エシカル・ベネロープ(株)〔フェアトレード推進企業〕

1月8日JETRO 大阪事務所

1月23日経済産業省

1月23日JETRO 東京事務所

1月24日(株)デルフィス〔エシカルについての研究〕

6月4日ピープル・ツリー〔フェアトレード推進企業〕

6月21日(株)マザーハウス〔フェアトレード推進企業〕

【国際的諸問題の研究】

世界の各地にある諸問題について、まずは我々が知るために各種団体やイベントに参加

2月3日ワンワールドフェスティバル

関西で最も大きな国際協力の催し

2月22日(公)アジア協会アジア友の会

キリマンジャロ・コーヒーの生産地の現状を伝える催し

3月8日（公） アジア協会事務局 日本とハイチの復興支援のイベント

5月4日 EARTHDAY KOBE 2013

地球環境を考えるイベント【TOYP事業】

【TOYPメンバーの招聘】

■9月5日（木）

TOYPメンバー来日

■9月6日（金）

大阪を知る見学

■9月7日（土）

TOYPフォーラム

■9月8日（日）

TOYPレポートの下書き開始

大阪を知る見学

■9月9日（月）

東京を知る見学

皇室謁見

■9月10日（火）

TOYPメンバー帰国

【TOYPレポートの編集と配布】

■〇月〇日

レポート原稿完成

■〇月〇日

レポートの配布先の選定

■〇月〇日まで

レポートのお届け。キャッチアップ

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

【テーマ】

フェアトレードは、短期的には、利潤を圧迫する。

現状、その意義の知名度は低い。したがって、地道に、できるだけ多くの者に認知させられるかという作業から入る必要がある。

【手法】

集会形式のフォーラムをするだけでは、インパクトが弱い。そこで、JCI大阪において伝統ある事業であり、皇室との関係をも利用できるTOYPのプログラムを使うと、よりインパクトのある情報発信が行うことができる。

【TOYPメンバーのモチベーション】

TOYPメンバーにより効果的なプレゼンテーションを行っていただくためには、彼ら自身が負担関わりが薄い日本文化（皇室含む）に触れていただくことで、プレゼンテーション相手の日本人のことを理解し、日本のファンになって貰うことが必要である。

【評価】

テーマ自体から見える効果は、人々がフェアトレードを認識し、理解しようとする端緒を与えることである。そして、自らフェアトレードに関する事業を興すことは、資金等の環境が整うことが必要で、個人が簡単にできない。また、突出しても、経済的な利益を得ることも難しい。したがって、アンケート以外の形で、1年というJCのスパンの中で、なかなか目に見える形での評価は難しい。しかし、スタートをしないかぎり、フェアトレードの実現は困難である。その意味で、結果が直ちに見えにくいですが、JCがこの事業を全世界的に行っていくと、フェアトレードが、いつのまにか、世界標準になっていることが望ましい。

目に見えないまでも、皇室が、次年度のTOYPにも、関与頂けるということからも、今年度のTOYP事業についても、好意的な評価をして頂いているものと、認識可能である。

Objectives, Planning, Finance and Execution 目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

フェアトレードを周知すること。

海外で、フェアトレードを実現している例を、海外の青年実業家から大阪市民に伝えて貰い、大阪市にフェアトレードの考え方の基礎を築くこと。

フェアトレードの考え方が広まれば、貧富の拡大を防止できる。

奴隷的拘束を防止し、児童労働も回避することにつながり、国連グローバルコンパクト 原則 4 及び 5 を推進する。

そのことで、自由主義社会を構築し、正しい経済発展を実現させる。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？

フェアトレードの実現は、開発途上国の経済的成長を促すものである。国連MDG'sの内の「開発のためのグローバルなパートナーシップの促進」の達成に向けた活動そのものである。

従って、本事業により、フェアトレードに関し、大阪市民に働きかけて、その認識と理解を広めることは、「国連MDG'sを促進する」ので、JCIの活動計画に沿っている。

また、国連グローバルコンパクト第 4 原則、第 5 原則にも合致しているので、この事業を事前勧誘時、あるいは、事後のレポート時に広報することは、「国連グローバル・コンパクトの理念について広報を続ける」という点でも、JCIの活動計画に沿っている。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算計画は事業の財務管理の為に効果的なガイドになりましたか？

地域を限定せず、全世界を対象に傑出した若者を招聘するために、渡航費・滞在費に予算を重点的に配分した。

その上で、フォーラムに広く大阪市民に参加してもらうため、会場費・広報費にも十分な予算を配分した。

一方、来日 1 日目にホームステイを実施することで、より日本のことを知ってもらう

とともに、滞在費を削減した。

また、大阪市の協力を得て、ウェルカムパーティーの会場として大阪市公館を無償で貸与してもらうことで、大阪の歴史を知ってもらうとともに、事業費を削減した。

さらに、大阪企画・東京企画についても、高額な費用を要せずに日本の歴史や現状を知ってもらえるよう工夫することで、事業費を削減した。

以上を管理する上で、事業予算は効果的な指針となった

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は JCI のミッションとヴィジョンを推進しましたか？

JCI MISSION に対して

フォーラムには J C I 大阪メンバーを始めとする多くの青年が参加した。この参加者に対して、更に、同世代にも関わらず、社会問題解決に向け実際に活動している社会企業家の話を講演に触れることで、意識変革の機会を提供した。また、招聘した外国人に異なる価値観や皇室への謁見を織り込むことで、さらに成長する意識を高める機会を提供した。

JCI VISION: に対して

海外で社会の問題解決の為に活動している社会企業家を大阪に招聘した。そして、大阪 J C メンバーがホスピタリティをもって 1 週間共に行動することで、J C I 大阪メンバーと T O Y P メンバーとの間で親密な関係を構築できた。グローバルネットワークの構築を推進させた。

※画像4つ必要

How did the Local Organization measure community impact for this project?

どのようにして、LOMは、このプロジェクトによる地域社会への影響を測りましたか？

今回は、認識をもってもらうことが第1の目標である。実際に自らフェアトレード等で行うとしても、資本の他に、社会の側に人々の共通認識が必要である。そこで、人々の認識はアンケートで調査し、社会への影響を測定した。

○アンケート結果（252名）

Q： フォーラム前に、エシカルファッションや、フェアトレードを知っていましたか？

A： 知らない 60%

Q： 基調講演を聞いて、エシカルファッションや、フェアトレードに必要性を感じましたか？

A： 必要性を感じた 93.9%

フォーラムの前後で、明らかに意識の変化が確認できた。

割合としてみると、事業参加者のほとんどに対して認識を持って貰い、意識変化をもたらしたと評価できる。

これは、フェアトレード、エシカルの考え方が、地域社会に根付く可能性を示している。IMPACTは、小さくない。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生した実際の地域社会への影響を記述してください

○なによりも、全くフェアトレードのことを知らない人たちに対して、その認識と理解を広めたことが大きい。そして、その結果、次のように広がっていった。

1) フェアトレード商品を扱う企業の支援の輪が広がる

当フォーラムに参加した一般市民にフェアトレードの内容を理解していただき、これまでは値段を見て安いか高いかで商品の購入を決めていたが、高くてもフェアトレードの商品を買う人が増えた。

2) 新たにフェアトレードに取り組む企業も現れた

当フォーラムに参加した企業の中から、自らのビジネスを通して、世界に存在する課題解決に向けた取り組みを行いたいという事で、新たに事業を起こす方が現れた。

([HTTP://WWW.SERENDIP-JP.COM/](http://www.serendip-jp.com/))

また、フェアトレードやエシカルという発想に関心を抱き、ビジネス構築に向けて準

備を始める人も現れている。

3) 参加者の中に、ファッション業界の専門学校の関係者がいた。

フォーラムを通じて、「ファッション業界からエシカル」という発想を通伝えた。その関係者が自らの学校で、この発想を生徒たちに伝えていくことになる。

※画像4つ必要

ページ5

Alignment to One or More of the Ten Principles through Concrete Measures

10 プリンシプルの一つ以上への具体的な取り組み

Which of the ten principles of CSR did this project target?

CSRの10の原則のうち 何をこのプロジェクト目標にしましたか？

原則4

フェアトレードの推進により、開発途上国との対等な経済関係を構築する。そのことで、不条理な条件を発展途上国の会社に強いることがなくなる。労働者が無理な労働条件～強制的な超過銀得、奴隷的拘束、賃金の留保等がなくなった世界の実現を目標とした。

原則5

原則4と同じ理由で、不平等な貿易条件は、過酷な労働へとつながる。児童労働を惹起する。フェアトレードの推進で、児童労働の原因をへらすことができる。

How did this project contribute to the promotion or implementation of the ten principles of CSR?

どのように、このプロジェクトは、CSR の 10 の原則の実現または促進に関与しましたか？

エシカル・フェアトレードの発想を起点とする 5 人の成年経済人を海外から招聘した。また、エシカルファッションの学識経験者にもフォーラムに参加いただき、講演して貰った。

私たちは、まず、世界には、過酷な労働や児童労働の実態がある現実を、大阪市民に知って貰った。日本国内では、政府により労働法制が整備され、監督が行き届いている。希に生じる事件を除き、過酷な労働、児童労働の実態が日常的な事実ではなかったからである。

私たちは、次に、過酷労働や児童労働を減らすためには、そのような搾取された商品ではなく、正当な価格で取引している商品の購買を促進すること、フェアトレードを進める企業を支援することが、特效薬であることを理解した。

実際に、フェアトレードを推進している青年実業家が、世界に存在することを知り、フェアトレードの推進は、決して夢物語の話でないことを理解した。

このようにフェアトレードの推進、ひいてはCSRの原則 4、原則 5 を推進するスタート時点に立つことができた。

※画像4つ必要

ページ6

Results Achieved 結果

Which objectives did this program achieve?

この事業は、どの目的を達成しましたか？

グローバルコンパクト目標の GOAL 1-B 「女性・若者を含むすべての人々の完全かつ生産的な雇用、ディーセントワークを達成する事」に対し、エシカルという今まで全く知らなかった発想をまちの人びとに認識させた。

GOAL 8-A 「開放的で、ルールに基づく、予測可能でかつ差別的でない貿易と金融システムを構築する事」に対し、これまで余り意識されていなかったフェアトレードの考え方を、まちの人びとに認識させた。

フェアトレード・エシカルの推進が、強制労働、児童労働を回避する具体的かつ重要な手法であることをまちの人々が認識することができた。

What were the concrete results of the project?

具体的な結果は、何でしたか？

フェアトレードの考え方が広がると、フェアトレード商品を扱う企業の支援の輪が広がることにもつながる。

当フォーラムに参加した一般市民がフェアトレードの内容を理解すると、消費商品の選択の局面で、値段の高低以外にも、フェアトレードの商品を買う人が増やすことができる。

そのことが、企業に、フェアトレードに参加する意義を見いださせることができる。フェアトレードの輪が広がっていく。

逆に、フェアトレードへの理解のない社会において、フェアトレードを取り扱う企業は、労働搾取の製品を扱う企業との価格の競争力で劣り、下手すると市場から駆逐されてしまう。

フェアトレードは、一見して仕入れ企業や消費者に採ってみれば、コストが増大するものであり、その意義を真に理解することは困難である。

そこで、過去 32 年の歴史、皇室の信頼もあるという、JCI 大阪が実施する TOY P 事業の強固なブランドを発揮して、フェアトレードの考え方を発信できた意義は大きい。そして、これは、フォーラムで終わるのではなく、皇室の謁見等のその後の活動を含めたレポートの編纂、配布という継続的な広報活動によって、今後さらに広がっていく内容である。

なお、当フォーラムに参加した企業の中から、自らのビジネスを通して、世界に存在する課題解決に向けた取り組みを行うために、新たに事業を起こす企業が現れた。

([HTTP://WWW.SERENDIP-JP.COM/](http://www.serendip-jp.com/))

また、フェアトレードやエシカルという発想に関心を抱き、ビジネス構築に向けて準備を始める人も現れている。

※画像4つ必要

ページ7

Impact on Local Organization LOM への影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのように、LOMは、このプロジェクトを運営することから利益を得ましたか？

○エシカルという発想をテーマとする事で、エシカルな取り組みを行っている企業・団体・個人と TOYP プログラムの実施に向けて数多くのコンタクトを行った事、また、多数の一般市民に TOYP フォーラムに参加してもらったことで、JCI 大阪の知名度や認知度を向上させることができた。

○大阪市の後援を得て、また、宮内庁東宮職や各国大使館・領事館の協力を得て、伝統ある事業を継続して行うことで、それら外部組織からの信頼度を向上させることができた。

○32回目を迎える本年度も皇室に6名のTOYPメンバーをお連れしたことで、皇室からの信頼を更に高めることができた。

How did the program advance the JCI Mission?

どのように、プログラムを通じて JCI ミッションを促進したのか？

○この事業を通して、JCI大阪メンバーには、卓越したTOYPメンバーと2週間共に過ごした。その刺激により、よりよい変化をもたらす力が与えられ、発展成長の機会を得た。

○JCI大阪メンバーは、アンケートの結果により、意識の変化を感じ取ることができた。また、来年以降も、皇室の協力が得られるという形で、伝統あるJCI大阪のTOYP事業の橋渡しをすることができた。

このように、TOY事業の成功を実感できたことで、自らの行動が好結果に結びついたという自信につながった。JCI大阪メンバーは、今後も前向きに行動しようという、よりよい変化をもたらす成長の機会を提供された。

※画像4つ必要

ページ8

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

エシカル、フェアトレードという、なじみのなかった発想を、大阪市民に認識する機会を与えた。

また、今回の事業を遂行する上で、実際に海外でエシカル、フェアトレードをしている青年経済人と、日本や大阪との間に縁を作ることができた。

この事業によって今後エシカル、フェアトレードの普及及び拡大のための、基礎を構築されたわけである。

長期的な影響としては、この基礎をもとに、比較的海外からの消費量が多い大阪市において、エシカル、フェアトレードが普及することにより、ひいては、その影響力により、MDG's, CSRが推進されていくことが期待される。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

繰り返し、エシカル、フェアトレードの重要性を訴えつづけ、考え方の認知度を、拡げ続けることが必要である。

今回は、TOYPという手法にて、認知度を拡大した。

同じ手法では、効果は限定的である。そこで、別の広報的な手法で、エシカル、フェアトレードの重要性を訴えるべきである。

なお、一度利用したTOYPという手法の効果を最大限利用するため、編纂したレポートというツールの存在は重要である。このレポートを利用して、できる限り今回の手法で得られた成果を反芻するようにすべきである。

他方で、今回の事業に関わった全てのJCI大阪メンバーが、JC外の私生活及び経済活動において、エシカル、フェアトレードを実践して、日常化・普遍化していくことが、何よりも大切である。他の事業以上に、JC外での活動の重要性をメンバーに意識づけるための仕掛け（たとえば、JC外のエシカル、フェアトレードについて、実践できている者を優秀なJC活動を行った者と同等の待遇で表彰する等）が必要である。

※画像4つ必要